

研究課題名	肝線維化の非侵襲的評価のための血清・肝組織糖鎖バイオマーカーの探索と実用化に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	2023年4月 ～ 2026年3月
研究の意義・目的	<p>全体研究としては下記を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝組織障害進展に関わる血清糖鎖マーカーを探索する ・血清の低侵襲糖鎖解析・検証を行うと共に、非侵襲的検査法と肝疾患患者の中・長期予後との関連性を検証する ・肝星細胞の活性化を抑制する化合物のスクリーニングを行う ・肝発癌、肝線維化進展と関連する宿主遺伝子の探索を行う <p>個別研究としては下記を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝線維化進行度を非侵襲的に定量評価し、肝疾患の予後との関連を明らかにする
研究の方法 (対象期間含む)	<p>全体研究に協力するため、データを提供する</p> <p>個別研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、脂肪肝疾患を対象としてMRIエラストグラフィで肝硬度を測定し、肝関連イベント、心血管イベント等との関連を検討する。 ・R6年度は、登録された症例を継続して観察し、肝硬度と肝関連イベント、心血管イベント等との関連を検討する。全体研究で同定された新規糖鎖マーカーの診断精度をMRIエラストグラフィで測定した肝硬度と比較する。 ・R7年度は、登録された症例を継続して観察し、肝関連イベント、心血管イベント等の長期予後との関連を検討する。全体研究で同定された新規糖鎖マーカーの長期予後予測に関する精度をMRIエラストグラフィで測定した肝硬度と比較する。
①試料・情報の利用目的及び利用方法（匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む） ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>①個人情報保護法の趣旨に沿って個人情報を取り扱う。個人情報を記載した試料・情報は、管理責任者（調査実施責任者および担当者）の適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えい防止および紛失等その他の安全管理を厳重に行う。</p> <p>②患者背景（年齢、性別、合併症または既往歴の有無）、血液学的検査結果、放射線画像検査結果、非侵襲的肝線維化評価結果、投薬状況</p> <p>③全国赤十字病院、全国肝疾患診療連携拠点病院、外部協力施設が参加する研究であり、各施設のデータはその代表者が個別に利用する。それらを統合した研究を行うのは武蔵野赤十字病院であり、玉城信治、黒崎雅之が匿名化されたデータを利用する。</p> <p>④武蔵野赤十字病院 消化器科 黒崎雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之</p> <p>TEL : 0422-32-3111（代表） FAX : 0422-32-9551</p>